

Dental care to improve a horse performance 馬のパフォーマンスを改善するためのデンタルケア

講演者：Dr. Raymond Hyde (American School of Equine Dentistry)

座長：中井健司（うしや競走馬クリニック）

最高のパフォーマンスのために必要なものは？

- ・精神的に健康であること
- ・身体的に健康であること
- ・最高の生理学的コンディション

デンタルケアがこれらにどのように影響するのか？

痛みのない状態はよりよいパフォーマンスを引き出す。歯の問題は馬の精神状態に影響する。私たちは馬がリラックスし、パフォーマンスに集中することを求めている。

「馬の注意を口からそらすこと Take the horse's mind out of his mouth」

プラン：痛みの元を取り除くこと。また、今現在ある、もしくは将来的に生じる可能性のある痛みの原因を特定すること。大きなレースや競技会で敗れてしまう原因になりうる将来的な問題を回避すること。

ほとんどの競技馬や競走馬がハミを付けて乗られるので、ハミの使い方も理解しておかなくてはならない。ハミは痛みや呼吸のための気流 air flow の問題の原因になりうる。ハミはコミュニケーションの助けになるものであって、拷問器具ではない。

歯肉からの歯の萌出において、顎骨や副鼻腔にかかる圧力、破骨細胞の活動、歯根膜 periodontal membrane の酵素は骨を溶かす。乳歯の脱落において、乳歯が動揺するため歯周炎や歯肉への創傷の原因となりうる。また、乳歯とその下から萌出してくる永久歯の間、もしくは隣接する歯との間に詰まった食渣の細菌作用による歯肉炎の原因にもなり、悪臭を放つ。

歯間空隙 diastemas は歯周炎を引き起こす。

プラン：歯間洗浄、歯科用ワックスの充填、歯間拡張 diastema burring などを行う。調教師 trainer により、開口器 speculum を用いて日常的にチェックする必要があるかもしれない。

破折した歯 fractured teeth は歯周炎や歯髄炎を引き起こす可能性がある。

プラン：破片もしくは全体の抜歯、歯髄の充填 **capping** を行うこともあるが、通常は保存療法が適している。薬物ルールに問題がなければ、鎮痛剤を用いる。

狼歯（第1前臼歯） wolf teeth はハミの使用に関連する痛みの原因としては一般的なものである。目視で確認できる、もしくは歯肉の下に感じることでできる狼歯は全て抜くことを推奨する。埋没狼歯 **blind wolf teeth** は見落とされがちで、ハミ受けの問題を引き起こすことが多い。狼歯はハミの操作により折れることがあり、破片が残ったり、歯髄炎を引き起こす可能性がある。

口腔内の創傷（頬側） buccal lacerations

セクレタリアトの膿瘍 **Secretariat's abscess** の原因になり、慢性もしくは急性の痛みの原因になりうる。（アメリカの歴史的な名馬セクレタリアトはケンタッキーダービーの前哨戦を敗退後、口腔内に膿瘍が見つかった。）

口腔内の創傷（舌側） lingual lacerations

まれに膿瘍を引き起こす。痛みや舌の腫れの原因になることがよくある。

プラン：定期的な歯科処置 **routine floating** により、上顎頬側と下顎舌側の鋭いエナメルポイントを除去する。ビットシートの作成も行う。

ビットシートを作ることにより、歯槽間縁の粘膜、下顎骨、骨膜の損傷を予防することができ、骨棘の形成を予防することにつながる。また、舌の痛みを解放することにより舌が前方にあることを促すため、適切な気流を確保できる（痛みにより舌を後方に引くことは **DDSP** の原因となる）。

萌出性嚢胞 eruption cysts は下顎もしくは上顎の痛みの原因になりうるが、通常は問題にならない。上顎の瘤 **bumps** は鼻道の気流を制限することがある。

プラン：歯牙の停滞 **impaction**、感染、異常形成、異所萌出 **ectopic eruption**、過剰歯 **supernumerary teeth** を評価するためにレントゲン撮影を行う。停滞している乳歯 **impacted caps** を除去することにより、永久歯の萌出を促し、嚢胞が自然に治まるようにする。必要に応じて抗生物質の投与を行う。

頭を振ること head shakers

アレルギーや羞明 **photophobia** が主な原因であるが、歯の痛みによっても引き起こされることがある。

頭の位置は気流に影響する。頭を下げることにより、気道が遮られるので、気流に悪影響を及ぼす。下顎短小 brachygnathism はフックや ETR Excessive Transverse Ridge、切歯の腹側湾曲 ventral curve、下顎の前後移動 A-P movement の制限、顎関節の痛みの原因になることがあり、馬が鼻面を下げようとするにつながる。

プラン：気流を確保するための完全な咬合リアライメント。

犬歯

萌出が痛みの原因になることがある。先端が鋭くなると唇や舌を傷つけることがある。

顎関節 TMJ temporomandibular joint

過長切歯 overlong incisors、切歯の腹側湾曲 ventral curve、傾斜切歯 slanted incisors は顎関節の不快感や機能障害の原因となる。さらに、顎関節の問題はパフォーマンスを引き起こす様々な症状の原因になることがある。ほとんどの場合、7歳以上の馬で見られる。

パフォーマンス：消化パフォーマンス VS 運動パフォーマンス

最高の運動パフォーマンスのためには、適切な消化パフォーマンスが必要である。適切なデンタルケアにより完全な餌の咀嚼が可能になり、ガスや便秘による疝痛の発生頻度が減少する。さらに、濃厚飼料の給与量を減らすことにもつながる。また、競走馬や競技馬でよく見られる胃炎や胃潰瘍を減らすことができる。

プラン：機能的すりつぶし能 functional grind を維持することにより、痛みのない咀嚼が可能になる。

定期的な歯科処置のスケジュール：若齢馬は脱換歯があるので、4ヶ月毎が理想的である。歯科処置を行う中で、ウイルス性の水疱 viral blisters、木の破片のような異物など、歯以外の問題にも注意すること。